こども共和国そらまめ　熱中症対応マニュアル

1. 子どもが熱中症になりやすい３つの要因

① 体温調節が未熟: 乳幼児は汗腺などが未発達で、体温調節が苦手
② 照り返しの影響: 身長が低いため、地面の照り返しを受けやすい
③ 自己管理が困難: 体調不良を自覚・表現することが難しい

2. 熱中症対策の法的責任とリスク

安全配慮義務違反	熱中症予防を怠ると、損害賠償責任が生じる可能性がある
業務上過失致死傷罪	重大な結果を招いた場合、刑事責任を問われる
その他のリスク	損害賠償、風評被害により、信頼低下などの可能性

3. 熱中症の応急処置と救急搬送の判断

熱中症が疑われる場合の対応は以下の通り

① 涼しい場所へ： 日陰や冷房の効いた室内へ
② 脱衣と冷却　：衣服を緩め、濡れタオルや保冷剤で体（首、脇の下、足の付け根）を冷やす
③ 救急要請　　：意識がない場合は、ためらわずに 119 番通報
　　応急処置で改善しない、悪化する場合も 119 番通報

4. こまめな水分＆塩分補給

種類	水だけでなく、スポーツドリンクや経口補水液など塩分やミネラルを含む飲料も与える
量	子どもの年齢や活動量に応じた、適切な量を飲ませる
タイミング	のどの渇きを感じなくても、少量ずつ、こまめに水分補給する。 活動の前後や休憩時間には必ず飲ませる。

※スポーツドリンクや経口補水液など塩分やミネラルを含む飲料を常備させておく

5. 服装

・素材：綿、麻など、通気性・吸湿性のよいもの
・色：淡い色（白、水色など）がおすすめ
・帽子：つばの広い帽子で、直射日光をガード

6. 温度・湿度を管理

・室内：エアコン等で 28℃以下、湿度 50～60%が目安
・換気：窓を開け、空気の入れ替え
※事前準備として、エアコンの定期点検（整備、清掃）を実施すること
　中古品を譲り受けた場合：半年に１階の業者による定期点検
　新品を購入した場合　　：１年に１回の業者による定期点検

7. 熱中症警戒アラート（暑さ指数）をチェック

気温と湿度、暑さ指数（WBGT）をこまめにチェック。特に、環境省の熱中症警戒アラートの情報を参考に、屋外での遊びや散歩等を調整・中止を検討

8. 子どもの様子をしっかり観察

子どもの健康状態をこまめに観察し、熱中症の兆候を見逃さないようにする